

2021年度 人間生活学科履修系統図

ディプロマポリシー	【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力等の能力】	【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】
	人間・福祉、経営・経済、生活・環境の各分野の学びを通じ、人間性に満ちた、幅広い教養を持ちつつ、課題に対する専門的な分析を行うために必要な知識と技能を有している。	人間の生活を多面から学ぶことにより、多角的に物事を捉えることのできる視野の広さを備え、社会の変化に柔軟に対応できる思考力を持っている。幅広い知識と専門性を有機的に連携させ、人間生活に関わるさまざまな課題に関する情報を的確に分析・統合し、総合的に判断できる力を持っている。課題研究を通じて専門的な視点から考察し、それを口頭及び文章の形で他者に論理的に伝える力を持っている。	社会人としての礼節とともに、他者への共感や奉仕の精神など、キリスト教的情操を身に付けている。それを基盤に、人と人との関わり、人とモノとの関わりを学ぶことに主体的・積極的に取り組み、人間としての生き方を深く考えようという意欲を有している。知識の背後にある人間性を尊重し、他者の人格価値に共感できる感受性を身につけ、それを実践の場で活用できる。

科目区分	養成される能力等	1年次開講科目	2年次		3・4年次		4年次(卒業論文)	
			履修コース	養成される能力等	2年次開講科目	履修コース	養成される能力等	3年次以降開講科目
基礎科目	物質的豊かさにとどまらない、人間性に満ちた真の生活の実現を追求する「人間生活学科」の多彩で幅広い学問領域の基礎を学ぶとともに、少人数制の演習において大学における研究の基礎を身につけ論理的な思考力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人間福祉学概論 ○ 経営経済学概論 ○ 生活環境学概論 ○ 人間生活学基礎研究Ⅰ・Ⅱ 	人間福祉学コース	<p>幅広い学びを有機的に連携させながら、人間・福祉を中心に専門領域の学びを深める。その過程で自身の興味や関心を見つめ、学びたいテーマを探すことができる。</p>	人間福祉学コース	<p>人間・福祉のゼミに所属し、現代の社会が問いかける倫理問題や、少子化・高齢社会における福祉課題など、人間福祉に関する幅広い考察を行い、真の人間らしさや自分らしさを追求する。</p>	卒業論文への取り組みを通して、文献読解力、データ解析力、論理的思考・構成力、文章執筆力といった総合的な能力を身につけ、人間生活にかかわる様々な課題について、情報を的確に分析・統合させ、総合的に判断しながら考察することができる。また、ゼミ活動や就職活動を通してこれまでの学びを統合させ、社会の変化に柔軟に対応できる人間性に満ちた思考力とコミュニケーション力を身につけ、総合的な知識と社会の要請に応える実践力を獲得するとともに、自らの進むべき進路を決定することができる。	人間関係学 社会福祉学
専攻科目	人間・福祉、経営・経済、生活・環境をキーワードに、人間の生活を多面から学び、多角的に物事を捉える力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人間関係学Ⅰ ○ 社会倫理学 ○ 社会福祉学Ⅰ・Ⅱ ○ 高齢者福祉論 ○ 児童家庭福祉論 ○ ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ ○ こころとからだの理解Ⅰ ○ 生活経営学 ○ 現代経営学 ○ ミクロ経済学 ○ 消費生活論 ○ マーケティング論Ⅰ ○ 生活情報処理 ○ ビジネスマナー ○ 被服学Ⅰ ○ 調理学 ○ 生活環境学Ⅰ ○ 食生活論 	経営経済学コース	<p>幅広い学びを有機的に連携させながら、経営・経済を中心に専門領域の学びを深める。その過程で自身の興味や関心を見つめ、学びたいテーマを探すことができる。</p>	経営経済学コース	<p>経営経済のゼミに所属し、私たちの生活を取り巻く様々な経済的背景に関心に向け、社会や生活のあり方を総合的に分析し、人間性に満ちた暮らしの本質を追究する。</p>	経営経済学	
			生活環境学コース	<p>幅広い学びを有機的に連携させながら、生活・環境を中心に専門領域の学びを深める。その過程で自身の興味や関心を見つめ、学びたいテーマを探すことができる。</p>	生活環境学コース	<p>生活環境のゼミに所属し、私たちの生活を取り巻く様々な背景に関心に向け、生活のあり方を総合的に考察し、人間性に満ちた暮らしの本質を追究する。</p>	生活環境学	

2021年度 児童学科履修系統図

ディプロマポリシー	【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力等の能力】	【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】
	児童学の6つの領域(心理学、特別支援教育・児童福祉学、文化学、教育学、音楽、美術)の基礎的知識を修得し、その上で自ら選択した領域についての専門的探究を深めている。また、こうした理論的・実践的な理解に基づき、人生の出発点にある子どもたちを教え育む者にふさわしい知識と技能を身につけている。	資料や情報を収集し、批判的に読み解くことによって、また子どもとかわる実践においても状況を多面的に把握することによって、新たな理解を生み出す思考力をもっている。こうした探究を遂行するための論理的思考力、実践的判断力と、その成果を他者に伝えることのできる表現力を身につけている。また、自らの理解や実践を振り返り、現実を改善していくこととする省察的な思考力を身につけている。	児童学において自らのテーマを探究することを通じて、生涯にわたる知的・実践的探究を進めていくための基本的態度をもっている。児童学の学びや子どもと出会う体験を通して、現代の教育現場におけるさまざまな課題を理解し解決していくこととする態度をもっている。また、ディスカッションを通して、主体的に学び、他者との対話の中で理解を深めていく態度をもっている。子ども達への共感と敬意を持ち、人間の多様なあり方を尊重しながら、ともに学び育ちあうことのできる態度をもっている。

科目区分	養成される能力等	1年次開講科目	2年次		科目区分	3・4年次							
			養成される能力等	2年次開講科目		養成される能力等	3年次開講科目	4年次開講科目					
基礎科目 (必修科目)	児童学の6つの領域(心理学、特別支援教育・児童福祉学、文化学、教育学、音楽、美術)を概観し、それぞれに関する基礎的な知識を身につける。また、「総合演習」の少人数教育のグループにおいて、研究・調査方法の基礎を学び、プレゼンテーションやディスカッションに主体的に取り組むことで、学問的なコミュニケーションの基本を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ○総合演習Ⅰ・Ⅱ ○心理学概論 ○特別支援教育基礎論 ○教育原理 ○児童文化論Ⅰ ○音楽基礎 ○美術基礎 				<ul style="list-style-type: none"> ○児童学演習Ⅰ／児童学演習Ⅱ ○卒業論文(3～4年次にかけて履修) 	○卒業論文(3～4年次にかけて履修)						
						卒業研究(論文・演奏・作品制作)							
						養成される能力等	研究分野						
						「卒業論文」(研究領域により、制作・演奏を含む)への取り組みを通して、資料や情報を収集し、批判的に読み解く思考力を身につける。実習等の学びを通して、教職・保育職にふさわしい実践的判断力を育み、探究の成果を他者に伝えることのできる表現力を身につける。児童学において自らのテーマを探究することを通じて、生涯にわたる知的・実践的探究を進めていくための基本的態度を見につける。	<table border="1"> <tr> <td>心理学</td> <td>文化学</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育・児童福祉学</td> <td>音楽</td> </tr> <tr> <td>教育学</td> <td>美術</td> </tr> </table>	心理学	文化学	特別支援教育・児童福祉学	音楽	教育学	美術
心理学	文化学												
特別支援教育・児童福祉学	音楽												
教育学	美術												
専攻科目	心理学 関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ○発達心理学Ⅰ ○発達心理学Ⅱ 	児童学の6つの領域における各論的な知識や、各領域固有の研究方法の基礎を身につける。また、教職・保育職にかかわる実践的科目や実習を通して、教員・保育士に求められる実践知への理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ○教育・学校心理学 ○心理学実験演習Ⅰ・Ⅱ ○心理教育統計 ○言語心理学 ○児童臨床心理学Ⅰ(心理学的支援法) ○心理学特講Ⅰ・Ⅱ ○小児精神医学概論 	児童学の6つの領域から一つを選択し、各研究室のゼミに所属する。「児童学演習」および専門的科目を通して、当該領域における専門的な研究方法と実践方法を修得するとともに、自ら主体的に資料や情報を収集し、ディスカッションを通してテーマを探究する研究能力を身につける。教職・保育職にかかわる実習において、教員・保育士に求められる実践知を修得する。こうした体験的な学びを通じて、児童学への理論的・実践的な理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎心理学特講 ○福祉心理学 ○社会心理学 ○子どもの観察研究方法 ○生徒指導の理論と方法 	<ul style="list-style-type: none"> ○小児精神医学各論 ○教育相談及び進路指導・キャリア教育の理論と方法 						
	特別支援教育・児童福祉学 関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ○小児の健全育成 ○特別支援教育総論 ○児童福祉学 		<ul style="list-style-type: none"> ○小児医学 ○社会福祉学 ○知的障害児の心理・生理・病理 ○肢体不自由児の心理・生理・病理 ○病弱児の心理・生理・病理 ○LD児等教育総論 ○社会的養護Ⅰ 		<ul style="list-style-type: none"> ○知的障害児教育総論／知的障害児教育 ○肢体不自由児教育総論／肢体不自由児教育 ○病弱児教育 ○視覚障害児教育総論／聴覚障害児教育総論 ○社会的養護Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ○重複障害児教育総論 ○障害児保育／子どもの保健演習 						
	教育学 関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ○児童教育学特講Ⅰ ○教職基礎論 ○生活 ○保育原理 ○保育者論 ○青少年問題 		<ul style="list-style-type: none"> ○教職課程論 ○国語Ⅰ／社会／算数／理科／家庭／体育 ○国語科指導法／算数科指導法／生活科指導法 ○道徳教育の理論と方法 ○教育課程の理論と方法 ○指導法の理論と方法 ○幼児理解及び教育相談の理論と方法 ○健康の指導法／環境の指導法 ○身体表現の指導法 ○子どもと健康 		<ul style="list-style-type: none"> ○児童教育学特講Ⅲ ○学校経営論／教育法規 ○教育方法論 ○書道／小学校英語 ○社会科指導法／理科指導法／家庭科指導法／体育科指導法／小学校英語指導法／特別活動の指導法 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育思想史 ○家庭教育 ○児童教育学特講Ⅱ ○国語Ⅱ ○教職実践演習(小・幼) 						
	文化学 関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ○児童文化論Ⅱ ○児童文化論Ⅲ 		<ul style="list-style-type: none"> ○児童文学 ○言葉の指導法 		<ul style="list-style-type: none"> ○人間関係の指導法 ○子どもと人間関係 ○子どもと言葉 							
	音楽 関連科目			<ul style="list-style-type: none"> ○音楽Ⅰ／音楽Ⅱ／音楽Ⅳ ○ピアノ演習Ⅰ／声楽演習Ⅰ ○音楽表現の指導法 		<ul style="list-style-type: none"> ○ピアノ演習Ⅱ／声楽演習Ⅱ ○音楽科指導法 ○音楽Ⅲ 							
	美術 関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ○絵画Ⅰ ○造形Ⅰ ○子どもと表現 		<ul style="list-style-type: none"> ○造形Ⅱ ○彫塑Ⅰ／彫塑Ⅱ 		<ul style="list-style-type: none"> ○絵画Ⅱ ○図画工作科指導法 ○造形表現の指導法 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵画Ⅲ ○表現と鑑賞の美術 						
	実習科目	○保育・教育基礎実習		<ul style="list-style-type: none"> ○保育・教育基礎実習 ○インクルーシブインターンシップ 		<ul style="list-style-type: none"> ○初等教育実習事前事後指導／初等教育実習 ○保育・教育インターンシップ ○インクルーシブインターンシップ 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育実習事前事後指導 ○特別支援教育実習 ○保育・教育インターンシップ ○インクルーシブインターンシップ 						
	保育士課程 演習・実習 科目	○乳児保育Ⅰ		<ul style="list-style-type: none"> ○保育内容総論 ○乳児保育Ⅱ ○子どもの食と栄養 ○保育実習Ⅰ／保育実習指導Ⅰ(2～3年次にかけて履修) 		<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの理解と援助 ○社会的養護Ⅱ ○子育て支援 ○子ども家庭支援論 ○保育実習Ⅰ／保育実習指導Ⅰ(2～3年次にかけて履修) 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの保健演習 ○障害児保育 ○保育実習Ⅱ／保育実習指導Ⅱ ○保育実習Ⅲ／保育実習指導Ⅲ 						
	モンテッソーリ 教育 関連科目					<ul style="list-style-type: none"> ○モンテッソーリ教育理論 ○モンテッソーリ教育実習Ⅰ 	○モンテッソーリ教育実習Ⅱ						

全学共通科目	キリスト教文化 研究所開講科目	1頁参照
--------	--------------------	------

2021年度 食品栄養学科履修系統図

ディプロマポリシー	【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力等の能力】	【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】
	生活習慣病をはじめとする疾病の予防や治療、あるいは児童・生徒の栄養管理や栄養教育の推進に資することのできる管理栄養士及び栄養教諭としての知識と技能を身につけている。	自らの考え方に基づき、蓄えた知識や技能を、医療や教育の現場において適切に発揮するための、思考力・判断力・表現力等の能力を有している。	栄養の専門家として、高い倫理観をもち、人々の健康の保持増進に貢献する関心・意欲を有している。そのために、日進月歩である栄養学・医学の分野において、主体性を持って多様な人々と協働して学び、常に自己研鑽を継続する態度を身につけている。

学年	1年次		2年次		学年	3年次		4年次								
到達目標	栄養学に関する基礎知識および基礎学力の育成		食や栄養に関する情報を体系化できる思考力・判断力・表現力の育成		到達目標	管理栄養士として即戦力となる能力の育成		「人間の栄養学」が実践できる管理栄養士の育成								
区分	科目名	養成される能力等	科目名	養成される能力等	区分	科目名	養成される能力等	科目名	養成される能力等							
基礎科目	○基礎化学 ○栄養学基礎演習	身近な物質に対する化学的理解を通じて、これから必要な食品学、生化学、生理学の基礎を養う。また、原著論文・着書等の資料を用いて、その論点の把握、分析、整理、展望および論文の書き方などの具体的手法を学ぶ。	○公衆衛生学 ○社会福祉概論 ○公衆栄養学 I ○健康情報管理論 ○健康情報管理論実習	公衆衛生の概念や歴史を知り、統計資料からわが国の健康・疾病状況及び栄養状態を把握する。また生活習慣が健康に及ぼす影響など社会・環境と健康との関わりについて理解を深める。さらにわが国の保健・医療・福祉体制について理解する。	専攻科目	○公衆栄養学 II ○公衆栄養学実習	地域や職域等の健康・栄養問題とそれらを取り巻く環境要因に関する情報を収集・分析し、総合的に評価・判定する能力を養う。さらに保健・医療・福祉・介護のシステムの中で適切な栄養関連サービスを提供できるプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントの理論と方法を修得する。	○栄養学総合演習 ○栄養学応用演習	すべての基礎科目・専攻科目を通して修得した知識・技術に基づき、「食と人間」、「食と健康」の関わりについて総合的に考えることができる能力を養う。併せて豊かな人間性を備えた管理栄養士を養う。							
	○管理栄養士論	入学直後に「管理栄養士とは何か」を理解するために、管理栄養士制度の変遷、食生活の変遷と管理栄養士の関わり、地域社会・学校・医療などにおける管理栄養士の役割と重要性について学ぶ。ホスピタリティ教育を通して管理栄養士として備えるべき倫理観を学ぶ。	○解剖生理学 III ○解剖生理学実験 I・II	人体システムの構造と機能を学修し、システム破綻による様々な疾病と薬物治療について概説する。また、人体機能のうち、循環器系、感覚器系、運動系、呼吸器系、内分泌系などについて実験を行い、人体システムの理解を深める。		○応用栄養学 III ○応用栄養学実習 ○栄養教育論 II ○栄養教育論実習 ○給食経営管理論実習 II	加齢や労働、運動、ストレスなどにより生体反応や栄養状態がどのように変化するかを理解し、問題に対応できる栄養・食事管理や栄養教育ができる能力を養う。また栄養教育に必要なコミュニケーションやカウンセリングの技法を修得する。	○栄養教育論 III ○臨床栄養学 III・IV ○臨床栄養学実習 III	すべての臨床実習が終了していることを受けて、具体的な事例を用いて問題の発見とその解決のためのプロセスと方法を確認し、知識の定着を図る。							
	○解剖生理学 I・II	人体の構造と機能について細胞レベルから組織・器官・個体レベルまで学びながら、人体を一つのシステムとして捉える視座を養成する。また、システムの破綻によってもたらされる疾病を理解するための基礎知識を身につける。	○生化学実験 ○基礎栄養学実習	生体反応の基本である酵素やたんぱく質に関する生化学的実験を通して、定性的・定量的な考え方を身につけるとともに、生化学の知識の定着を図る。また、糖質や脂質代謝に関する分子栄養学的実習を通して、自然科学としての栄養学の基盤を構築する。		○臨床栄養学 I・II ○臨床栄養学実習 I・II	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づき、適切な栄養管理を行うために必要な栄養状態の評価・判定、栄養補給方法などを学び、併せて栄養療法的重要性と管理栄養士の役割を理解する。さらに各種疾患の症例を通して、疾患別の栄養食事療法の実践を学ぶ。		○健康の保持・増進 III	専門基礎分野、専門分野のすべての科目を整理復習し、食に関する膨大な情報の中から必要とされる要素を抽出し、体系化できる思考力・判断力、さらにそれを人々に伝えるための表現力を身につける。						
	○生化学 I・II ○基礎栄養学	3大栄養素が生体内でどのような生化学的反応を経て代謝されるのかを理解するとともに、栄養素の消化・吸収・代謝と各臓器との関連について学ぶ。また、個体の恒常性維持機能や遺伝子発現機構についての理解を深める。	○微生物学 ○食品衛生学 I・II ○食品衛生学実験	細菌、ウイルス、真菌などさまざまな特徴をもった微生物とヒトとの関わりや食中毒や感染症のメカニズムについて理解し、微生物による食品変質や多様な食中毒の発生機序を知り、予防対策や食の安全について総合的に考える能力を養う。		○臨床医学 II ○生体防御論 ○生体防御論実験	生活習慣病をはじめ循環器、呼吸器、アレルギーなどにおける各種疾患についての基礎的知識を修得する。さらに免疫システムと感染症との関係を理解する。またプロバイオティクスやアレルゲンの分析等を通して生体防御機構の概要を理解する。				○健康の保持・増進 III	専門基礎分野、専門分野のすべての科目を整理復習し、食に関する膨大な情報の中から必要とされる要素を抽出し、体系化できる思考力・判断力、さらにそれを人々に伝えるための表現力を身につける。				
	○食品学 I・II ○食品学実験	食品に含まれる多種多様な成分の化学的構造、性質、変化を学び、食生活や健康と密接に関係する食品素材の分類と特性、食品製造・加工の原理を理解する。また、食品成分の定性・定量実験を行うことで、食品成分表への理解を深める。	○病理学 ○臨床医学 I ○臨床情報管理実習	なぜ病気になるのか、その基礎を理解した上で、各疾患の成因・病態・症状・診断・治療について基礎的知識を修得する。また、疾病の病態、臨床情報の意味を理解し、個々の対象者に適切な栄養管理・栄養指導を行うための力を養う。		○臨床実習 I・II・III・IV ○臨床実習事前事後指導 I・II・III・IV	病院、学校、福祉施設、保健所など実践活動の場において管理栄養士業務の実際を体験する。専門的な知識・技能の修得を目指しながら、現場のニーズを読み取る深い思考力、幅広い知識を背景とした適格な判断力を身につけ、知識及び技術の統合を図る。						○健康の保持・増進 III	専門基礎分野、専門分野のすべての科目を整理復習し、食に関する膨大な情報の中から必要とされる要素を抽出し、体系化できる思考力・判断力、さらにそれを人々に伝えるための表現力を身につける。		
	○調理学 ○調理学実習 I・II	おいしさに関与する要因を、食品の調理・加工機能や各種操作と関連づけて理解する。さらに実習を通して、炊飯、だしの取り方、煮物など基礎加熱調理操作技術を習得し、調理実験から食材の調理機能を観察・理解する。	○応用栄養学 I・II ○栄養教育論 I ○給食経営管理論 I・II ○給食経営管理論実習 I	栄養アセスメントの基本となる臨床診査、身体測定、食事調査等の評価基準および食事摂取基準の基本的な考え方を理解する。さらに欠食、偏食、肥満、生活習慣病などライフステージ別の諸問題を把握し、それらに対応できる栄養教育を展開するための基礎知識や教育計画立案・評価等の知識を修得する。また、特定多数人に対する集団給食システムの理解と給食運営のための基本的技術を修得する。		○学校栄養教育論 I・II	学校教育における食育の現状と課題を踏まえ、児童・生徒の発達段階に応じた食に関する指導、学校給食の管理・運営ができる能力を養う。また各教科等における食に関する指導の内容を理解し、栄養教諭としての使命と自覚および職務内容についての理解を深める。								○健康の保持・増進 III	専門基礎分野、専門分野のすべての科目を整理復習し、食に関する膨大な情報の中から必要とされる要素を抽出し、体系化できる思考力・判断力、さらにそれを人々に伝えるための表現力を身につける。
	○健康の保持・増進 I	栄養学は、食と健康を結ぶ自然科学であり、人文科学である。身の周りの自然現象や人の技術により生み出された食品や日用製品などの成り立ちや変化を、化学の目で見るための基礎を養う。食品学、生化学、生理学などの基礎を養う。				3年次～4年次(卒業論文)										
				卒業論文の到達目標	論理的・科学的に考察する総合的な能力の育成		卒論研究分野									
				育成される能力等	3年次までに学んだ食品・栄養学の集大成として、各自が文献検索・文献抄読を通して設定したテーマについて、研究計画の立案から成果発表までの一連の過程を遂行することにより、基本的な思考力・判断力と判断したことを実行できる表現力を養う。		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">栄養生化学</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食品学</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">栄養管理</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食生態学</div> </div>									

全学共通科目	キリスト教文化研究所開講科目	1頁参照
--------	----------------	------